

Activity Report

2013 May

5



NEWS

[株式会社 IDAJ](#) 様にて講座【GT-POWER 入門 エンジンモデル編】を無償で受講させていただきました。ありがとうございました。次年度のパートレイン班の設計に活かさせていただきます。

株式会社 IDAJ <http://www.idaj.co.jp/>

[NTN株式会社](#)様から、ドライブシャフトとベアリングを提供させていただきました。ありがとうございました。



NTN 株式会社 <http://www.ntn.co.jp/japan/>

[日信工業株式会社](#)様から、マスタシリンダを提供させていただきました。ありがとうございました。



日信工業株式会社 <http://www.nissinkogyo.co.jp/>

[THK株式会社](#)様から、スフェリカル、ロッドエンド、ピロボールを提供させていただきました。



THK 株式会社 <http://www.thk.com/?q=jp>

Kogakuin Racing Team

リーダー挨拶

入梅の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。

チームは今月から本格的に書類審査のための書類作成に取り掛かっています。昨年度順位を落としてしまったデザインレポートやコストレポートの点数を上げるべく、添削の方法や時期を見直し、効率よく完成度の高いレポートに仕上げべく日々尽力しています。

また、今年度は5月に1年生の担当配属が決定しました。大会が始まる前の早い時期からメンバーの一員として責任のある仕事を任せ、次の大会に向け、新チーム体制になった時スムーズにチーム運営をしてもらおうという狙いがあります。

早いもので大会まで3ヶ月ほどしかありません。この3ヶ月間でやり残したことが無いよう、何事も「今でしょ！」を心掛けていきます。

2013年度 チームリーダー：山本貴史

テクニカルディレクター挨拶

時折暑いと思えるような日差しに照らされ始めたかと思えば、すでに九州のほうでは梅雨入りの知らせが出るなど、急激に季節の変化が起きております。このような時期において油断すると突然体調を崩したりするものです。みなさまもどうかご自愛ください。

さて、チームの全体的な進行状況をお伝えいたします。

車両の組み付けを行い、何とか車両の接地にまでは漕ぎつけることができました。しかし、ペダルの設計の甘さや足回りのアライメントの精度の悪さが露呈し、シェイクダウンに至ることは叶いませんでした。正直に申し上げて、非常に危機的状況に追い込まれております。このような事態を引き起こしてしまい、大変申し訳ございません。

これからのチームの進行方針についてご説明申し上げます。複雑な構成をしたコスト審査書類作成と車両の改善の同時進行は支障をきたすと判断し、現在はコスト審査に対して集中しています。ただし、車両について特に致命的なパーツについては担当に再製作を急がせ、その担当のコストレポートは他の者が取り組むという体制をとっております。

不幸中の幸いと申しましょうか、今年度は例年に比べ非常に多くの1年生が積極的に上級生の仕事に関わろうとしております。コスト審査書類作成においては蔑ろにされがちだった、あらゆるメンバーに効率的に仕事を与える体制をつくり、チーム全体でこれらの問題の解決に尽力してまいります。

2013年度 テクニカルディレクター：半坂 剛志

Kogakuin Racing Team

Aerodynamics

■活動報告

今月は作業をマスター製作などの作業を進め、同時にデザインレポート、コストレポートを進めました。

現在ノーズコーンのマスターの制作が最終段階までできています、このままの調子を維持して8月の試走会までに全て完成させたいと思っています。

■今後の予定

今後の活動としてはコストレポートの完成、ノーズコーンの雌型の製作、サイドポンツーンのマスターの製作をしていきたいと思っています。

2013年度カウル班リーダー 新沼 大悟



図1 現段階のノーズコーンのマスター

Frame

2013年度フレーム班リーダー 川林 直輝

■活動報告

フレーム班は残っていた各パーツの取り付けステイの溶接と、シェイクダウンに向けて車両の組み立て、調整を行いました。

また、連動してコストレポートの作成と大会提出書類の作成を行いました。

■今後の予定

大会提出書類制作の続きを進めてまいります。



図1 車両組み付け図

Control

2013 年度操舵班リーダー 坂根 真之

■活動報告

～ペダル～

ペダル班は、ブレーキバランスバーとマスターシリンダの締結部のピッチに違いがあり、そのままでは締結できないため締結部分を新規に制作しました。

また、シェイクダウンに向けて組み付けを行いました。アクセルペダルの過剰な踏み代や、マスタシリンダ取り付けステイの剛性不足などの問題が発覚してしまいました。現在、ペダル班としてコストレポート制作と連動し解決に急いでおります。



図1 ペダル全景



図2 ブレーキバランスバー

■今後の予定

問題点の早期解決とコストレポートの制作を進めてまいります。

Kogakuin Racing Team

Engine

2013年度パワートレイン班リーダー 竹内 啓

■活動報告

今月のパワートレイン班の活動は、先月末に発生した再設計と、シェイクダウンに向けての車両製作です。

今回の再設計では、性能は前回の設計と同程度で、製作性の向上を目標にしています。特に大きな変更は、前回の設計ではインテークマニフォールドのファンネル形状を製作する為に実柱から削り出して製作していましたが、今回の変更では肉厚の厚い (5[mm]) のパイプを切削し製作することで、加工時間を大幅に短縮できるようにしました。

シェイクダウンに向けた車両製作ですが、パワートレイン班はインテークが流用となった為、ラジエーターのみの変更となります。しかし、フレームが新設計となった為、各ユニット間の距離が微妙に変化しました。よって、各種配管の長さを微調整する必要がありました。しかし、変更点は少量で済んだので、問題はありませんでした。

■今後の予定

インテークマニホルドの制作に入ります。

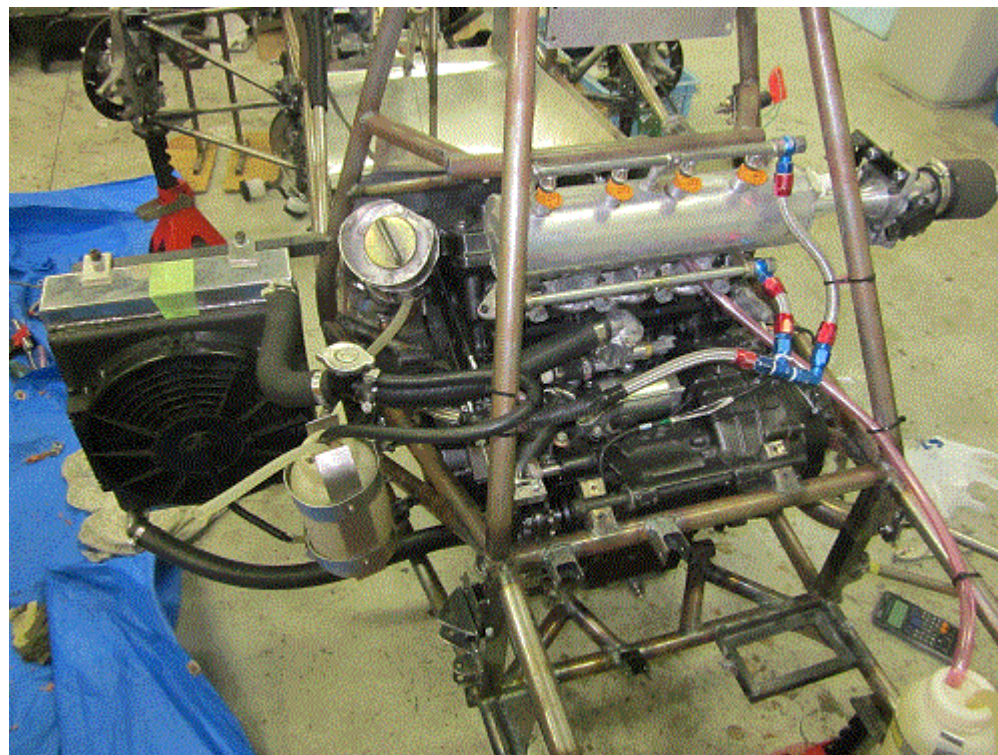


図1 エンジン全景

Suspension

2013 年度足回り班リーダー 足立新

■活動報告

今月は主にデザインレポートの作成を行っていました。今年度は文章構成を新しくし、設計で新しく導入した要素を強調できる文面に変更しました。

車両製作では他担当からの協力のおかげで部品の製作を終わらせることができ、地面に着地することが出来ました。しかし、この段階で足回り班の中では多くの問題点が起きてしまいました。今後は問題の追及と改善を行いたいと思います。

また、今年度は足回り班に新入生が3人も加入しました。今後の活躍に期待したいと思います。

■今後の予定

今後はコストレポート作成の作業に重点を置く予定です。引き継ぎの意も込めて後輩にほとんどの作業を任せ、私はアドバイスと裏付け資料の作成に専念します。

また車両に関しては今回出てきた問題点の原因追求と解決も並行して行いたいと思います。

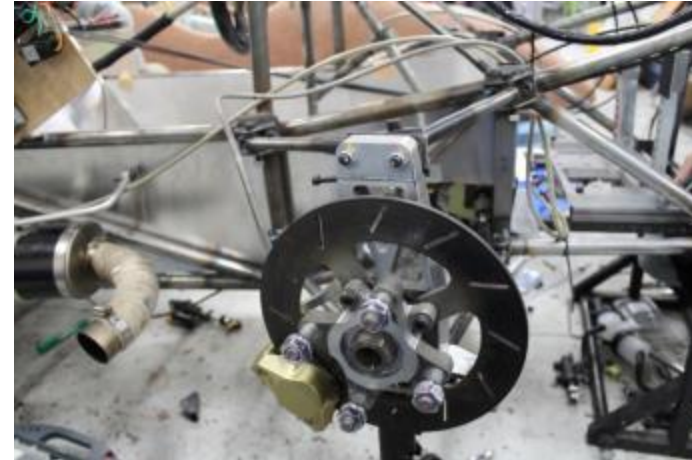


図1：組み付けられたフロントメンバー



図2：組み付けられたリアメンバー

Sponsors

私たち KRT は、多くのスポンサー様に支えられ、活動しております。ご支援頂いております皆様に、厚くお礼申し上げます。

株式会社 IDAJ 様
株式会社五十嵐プライヤー様
株式会社エフ・シー・シー様
株式会社江沼チェン製作所様
株式会社カナエ様
株式会社兼古製作所様
株式会社共和電業様
株式会社神戸製鋼所様
株式会社古寺製作所様
株式会社ジーエイチクラフト様
株式会社スリーピークス技研様
株式会社スポーツランドやまなし様
株式会社マクセルスリオンテック様
株式会社ソーシオ様

株式会社ハイレックスコーポレーション様
株式会社ピスコ販売様
株式会社富士精密様
株式会社 VSN 様
株式会社マルト長谷川工作所様
株式会社ミスミ様
NTN 株式会社様
呉工業株式会社様
三協ラジエーター株式会社様
象印チェンブロック株式会社様
ソリッドワークス・ジャパン株式会社様
ダウ化工株式会社様
タカタサービス株式会社様

THK 株式会社様
東北ゴム株式会社様
特殊技研株式会社様
トップ工業株式会社様
鍋屋バイテック会社様
ハンマーキャスター株式会社様
ヘラマンタイトン株式会社様
本田技研工業株式会社様
松井精密工業株式会社様
有限会社須佐製作所様
工学院大学機械系同窓会様
工学院大学学生フォーミュラ OB 会様

■ 発行元

〒192-0015 東京都八王子市中野町 2665-1

工学院大学 学生フォーミュラ

広報部 阿保 右京

TEL 090-2907-9741 Mail a212005@ns.kogakuin.ac.jp

URL <http://www.ns.kogakuin.ac.jp/~wwa1032/>

※ 会報に関するご意見、ご要望、ご質問等は、お手数ですが上記までお願い致します。